

「潟」体験プログラムの指導者募集

2023年の春から、中高生対象の教育旅行(着地型体験観光:新潟市観光推進課)が始まります。

https://www.city.niigata.lg.jp/kanko/kanko/newnormaltourism/kansui202203251.files/Niigata_220316.pdf

5つの体験テーマの1つ、「水と共に生きる」に潟の体験プログラムが設けられました。当会が窓口となって、会場を鳥屋野潟や福島潟などで実施指導を担当します。



教育旅行パック

想定は15名(最大40名)の学生の3泊4日の体験旅行。私たちは、四季それぞれでのプログラム調整や会場設営、レクチャー、体験指導、最終日の生徒による体験学習成果の発表に対する講評などを担います。

鳥屋野潟で提供するプログラムイメージは、春から秋期には、一本松沖合での潟ウォークやカヌー体験、投網体験、空芯菜の収穫やひげ根の下の生物生態調査、水質調査などと、映像記録の支援です。冬期は、飛来する白鳥の観察が主体になりますが、漁の最盛期なので漁師の投網や刺し網の湖上見学も想定されます。



潟ウォーク体験



二人乗りカヌー体験



陸上で投網体験
(撮影: 隅杏奈さ)



空芯菜収穫や調査体験

実施のためには、15名の学生が2~3時間で体験完了できるプログラムとそれに対応した、①潟の適地、②指導者、③必要なデータ、④道具や装備、⑤記録とタイムキーパー、⑥体験サポーター、⑦天候を含む安全監視体制などの準備が必要です。特に、体験する現場での学生がつぶやく感想は、指導プログラムの貴重なアップデート資源になるので、その映像や音声、メモ記録が重要です。

学生の気付きを引き出す体験指導者やガイド、サポーターを募集します。経験でなく潟想いが大切です。

インタープリテーション(※)ガイドが大事です。この取組を通して、新潟市内の潟の活動連携を深め、潟の新たなSDGs体験プログラムづくりとインタープリターガイドが育つことを期待したい。

※一種の技(art)。直接、体験や教材を通して対象の背後にある意味や関係を明らかにすることを目的とした教育活動
(フリーマン・ティルデン Freeman Tilden)

★問い合わせ&申込み: 担当長谷川、相楽(さがら)
info@niigata-mizubenokai.org

■水辺情報

第4回 にいがた市民環境フェア 入場無料

来て! 見て! 知って! わたしたち地球環境ファミリー!

にいがたの市民が1年に1度、地球環境のために集うお祭りです。楽しく遊びながら、今、世界中で取り組まれている、「持続可能な開発のための目標(SDGs)」や、地域の環境保護活動を知ります。ご家族、お友達と、お気軽にご参加ください!

日時 6月12日(日) 10:00~15:00

場所 いくとびあ食花 花とみどりの展示館 (新潟市中央区清五郎336番地)

SDGsについて学ぼう!

家で楽しみながらSDGsが学べるコーナーが待っています! 今年初の開催です! ぜひ参加してください!

上記の環境フェアで、水辺の会ブースと、そこから案内されるがってん基地サテライトブースを出します。疑似体験カヌーを会場で、リアルなカヌー乗船体験(会員外は¥500 保険代など)を清五郎潟でできます。竹筏の上での水耕栽培中の空芯菜ガイドもします。また、SDGsスピーチ大会やシンポジウムがあります。ぜひご参加ください。

編集後記: 今年の9月23日(金)から3日間、朱鷺メッセや新潟市民プラザを会場に「開港5都市景観まちづくり会議 2022 新潟大会」が開催されます。

開港5都市景観まちづくり会議は、安政5年に開港港に指定された函館、新潟、横浜、神戸及び長崎の5都市の市民が、景観、歴史、文化、環境などを大切にまもり、愛着をもって育て、個性豊かで魅力あるまちづくりを行うため、相互に交流を深め、開港5都市のまちづくりの推進を目的とした会議です。

1993年から始まったこの大会は今回で28回をむかえます。

実行委員会では「港まち新潟」を深掘りし、まちを知る、まちを楽しむ、景観を楽しむメニューを考えています。

7月には大会内容が発表されますので興味のある方はぜひご参加ください。

会議のURLです。 <https://kaikou5.jp>

- 発行: 特定非営利活動法人 新潟水辺の会
- 〒950-2264 新潟市西区みずき野 4-7-15 大熊方
- Phone 025-264-3191 Fax 025-264-3260
- ホームページ <https://niigata-mizubenokai.org>
- メール info@niigata-mizubenokai.org
- 会員数 個人会員 81名、法人会員 6団体、家族会員 2組、法人賛助会員 1団体、顧問 3名(2022年5月末現在)

特別号

niigata-mizubenokai report

新潟の水辺だより

●編集発行 特定非営利活動法人 新潟水辺の会

●発行日 2022年06月12日

= 体験プログラム & イベントの参加者・指導者募集号 =

潟あそび・野遊び大好きな子は集まれ! ■潟 Jr リーダー育成プログラム 2022 参加者募集

●最も感性が育つ適齢期に“生きる力”をつけよう

子どもにとって10代の前半は、最も感受性が強く、五感で吸収するモノやコトが多い。でも今はコロナ禍で動けず、委縮した活動になっているのではとされます。学校のクラブ活動も地域に移行しつつあると聞きます。

私たちは、日常的に子どもたちが、潟あそび・野遊びができる水辺づくりと体験指導できる体制づくりを始めています。新潟駅から10分の鳥屋野潟には、浅瀬で活動に適した安全な水辺があります(写真)。指導ボランティアを引き受けるシニアも大勢いて、皆さんは多様なスキルを持って待っています。



潟ウォークワークショップ(2018)

ぜひ、お試しても良いのでご参加ください。

●「遊びが人を育てる」が基本です

ジュニア(Jr)リーダー育成の体験プログラムでは、ゲームのように子どもたちが目標ゴールを決めます。その達成感やエネルギーになり、その失敗は成功のための栄養になります。シニアリーダーは、安全や手順、結び方など基本動作のスキルを伝授し、体験サポートに徹します。



潟あそびワークショップ: 撮影王毅氏

※'21年潟遊びは山口育英奨学会財団の助成を受けて実施。

■潟 Jr リーダー育成プログラム

●プログラムは参加するジュニアと共に考えます!

1. ジュニア基地づくり ④「住み家」のジュニア基地を子どもたちが時間をかけてつくる。ハンモックもソーラー電源もある秘密基地づくりだ。



出典: 「野あそびずかん」松岡達英著

2. 竹イカダづくりとカヌーで湖上探検 ④結束スキルを学ぶ。空芯菜イカダ(竹筏)、舟のようにこぐ竹筏づくり。④二人乗りエアカヌーで潟に出る。潟の風、波、光、住宅やビッグスワン、鳥、植物、魚、虫、(ゴミ)などを探検し、潟の魅力再発見。



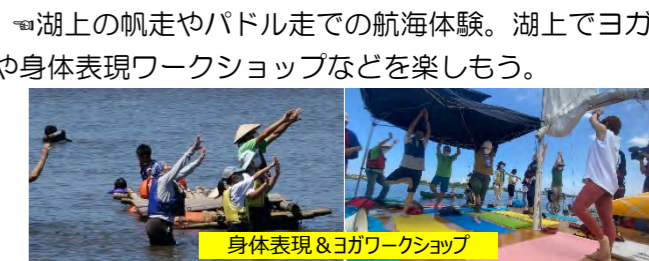
二人乗りカヌー



車いすカヌー

3. 潟ウォーク&水防訓練体験学習 ④洪水時の疑似体験。潟の中を歩き土のう積み体験。別途掲載。

4. 浮島がってん丸航海&ワークショップ・キャンプ ④湖上の帆走やパドル走での航海体験。湖上でヨガや身体表現ワークショップなどを楽しもう。



身体表現&ヨガワークショップ

④潟に浮いたテラスの上でテント泊。ジュニアもシニアも初体験だ。潟ナイトの魅力発見になる。

5. 湖上栽培の空芯菜を食べよう ④湖上水耕栽培の空芯菜の収穫と調理を食花センターで体験する。



空芯菜収穫と調理体験ワークショップ

6. ジュニアのニュース Web 発信 ④子どもたちが、体験活動の様子をカメラで記録して Web 発信。

7. 体験発表&潟 Jr リーダー認証 ④子どもたちが、12月の水辺のシンポジウムで、体験学習の成果として子どもたちが考えた潟の魅力UPの「潟 Jr リーダー育成 2023 プログラム案」を発表する。

※特別プログラム: 雪中のデイキャンプ
④希望する親子の日帰り雪中デイキャンプ。

★問合せ&申込み: 担当相楽(さがら)
info@niigata-mizubenokai.org

※'22年はセブン-イレブン記念財団の助成を受けています。